

第一回 関西 タッチケア・フォーラム

言葉をこえた、心の不安や疲れに、いま、優しく触れることが見直されています。

第一回関西タッチケア・フォーラムでは『皮膚という脳』『子どもの脳は肌にある』の著者で心理学者の山口創先生と、米国カリフォルニア州エサレン研究所のブリータ・オストロム氏をお招きして、タッチを通じての心身への気づきと癒しの可能性をご一緒に、探求したいと思います。

アロマ、マッサージ、ボディワーク等「ふれる」仕事に従事されてる方、医療・福祉・教育等対人援助に関わる方、あるいは、家族間でのタッチケアにご関心のある方、ふれることにご関心のあるすべての方、ぜひ、ご参加ください。

タッチケア — その理論と実践 —

皮膚という“脳”・タッチと“こころ

日時：2011年9月24日（土） 10:30～16:00（開場 10:00） 参加費：5000円

場所：[尼崎市女性センタートレビエ 3階 多目的ホール](#)（一部のみ2000円、二、三部のみ3000円）

阪急電車 神戸線：武庫之荘駅 武庫之荘南出口から南へ直進 240m **注意：会場が変更となりました。**

第一部 10:30～12:00 ^{はじめ} 山口 創（桜美林大学准教授 『子どもの脳は肌にある』 『皮膚という脳』 著者）

講演： ふれることの効果：皮膚と心の身体心理学

第二部 13:00～14:30 ブリータ・オストロム（カリフォルニア州エサレン研究所公認ボディワーク講師）

体験ワークショップ：自分とつながる、気づきのタッチ

第三部 14:45～16:00 パネル・ディスカッション “タッチケアの可能性と課題”

山口創、ブリータ・オストロム、宮里文子（NPO 法人関西アロマセラピストフォーラム副理事長）
司会：中川玲子（NPO 法人タッチケア支援センター代表理事） ***東日本大震災での支援活動経過報告**
東日本大震災の支援活動でタッチケア・サポート途中報告（パネル掲示あり）

山口 創（やまぐちはじめ）

桜美林大学リベラルアーツ群准教授、早稲田大学大学院非常勤講師。早稲田大学大学院卒業。博士（人間科学）、臨床発達心理士。既存の心理学の枠にとらわれず、身体から心へのアプローチ（Embodied mind）を追求している。研究する中で「触れる」という人間にとっての本質的な行為の大切さに気づき、親子のふれあい、看護や医療における「手あて」の効果をはじめ、触覚や皮膚と心の関係にまで領域を広げている。「子供の脳は肌にある」「愛撫・人の心に触れる力」「皮膚という脳」など著書多数。

ブリータ・オストロム (Brita Ostrom)

米国シアトル出身。エサレン研究所公認エサレン®ボディワーク認定講師。1999年より日本で教える。1960年代から統合医療とヒューマンポテンシャル運動（人間の潜在能力に関する運動）で有名な米国カリフォルニア州エサレン研究所にかかわる。エサレン®ボディワークの他、ゲシュタルトプラクティスを長年実践し、グループワークも行う米国公認サイコセラピストでもある。エサレン®ボディワークの先駆的存在の一人。40年以上「ふれる」ことを実践し続けてきた体験には深みがあり、今もなお「ふれる」ことを通じての自己探求と気づき、癒しを世界中の生徒たちに伝える。



お申込みフォームはこちらから →<http://ws.formzu.net/fgen/S32549221/>

携帯からは→<http://ws.formzu.net/mfgen/S32549221/>

TEL 064967-9839 FAX -0621-9752 メール info@touchcaresupport.com